

2014年3月期決算 および通期業績予想

2014年5月16日

サクサ ホールディングス株式会社

<将来の見通しに対する記述の注意事項>

本資料に記載されている業績予想、将来予想については、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合がありますのでご承知おきください。

本日の説明内容

- 2014年3月期 連結業績概要
- 2015年3月期 通期連結業績予想

本資料に記載されている金額および比率は表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

■ 2014年3月期 連結業績概要

■ 2015年3月期 通期連結業績予想

■ 2014年3月期 連結業績概要

-主な取組み1/4-

事業の拡大	1. オフィス市場	<ul style="list-style-type: none"> ① 「Office AGENT」シリーズを提供開始 <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声と情報通信を融合させたキーテレホンシステム「PLATIA」 ・ 安心かつ効率的な業務をサポートするアプリケーションサーバー「SB2000」 ② お客様のネットワークの運用状況が見える化するサービスの提供を推進 (「株式会社ネットリソースマネジメント」を共同で設立)
	2. 社会インフラ市場	<ul style="list-style-type: none"> ① システムインテグレーション事業の拡大 ② 画像認識技術を活用した安全監視システム ③ 環境の見える化や自治体向け見える化ソリューション
	3. グローバル展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ カンボジア市場向け機械警備システムの販売と販売商材の拡充
	4. 加工受託領域の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生産機能の有効活用による加工受託領域の拡大

■ 2014年3月期 連結業績概要

-主な取組み2/4-

経営基盤の強化	1. 業務の効率化	① 組織機能の見直し実施（グループ機能の統合） ② IT基盤の整備（セキュリティ対策への取組み）
	2. 総原価の低減	・ 材料費削減に対する取組みの継続
	3. 財務体質の強化	・ 遊休固定資産の流動化

2014年3月期 連結業績概要

-主な取組み3/4-

(単位：億円)

経営改善施策

背景

■受注減少

【ネットワークソリューション分野】

- ・新商品の市場浸透の遅れ
- ・映像関連システムの伸び悩み

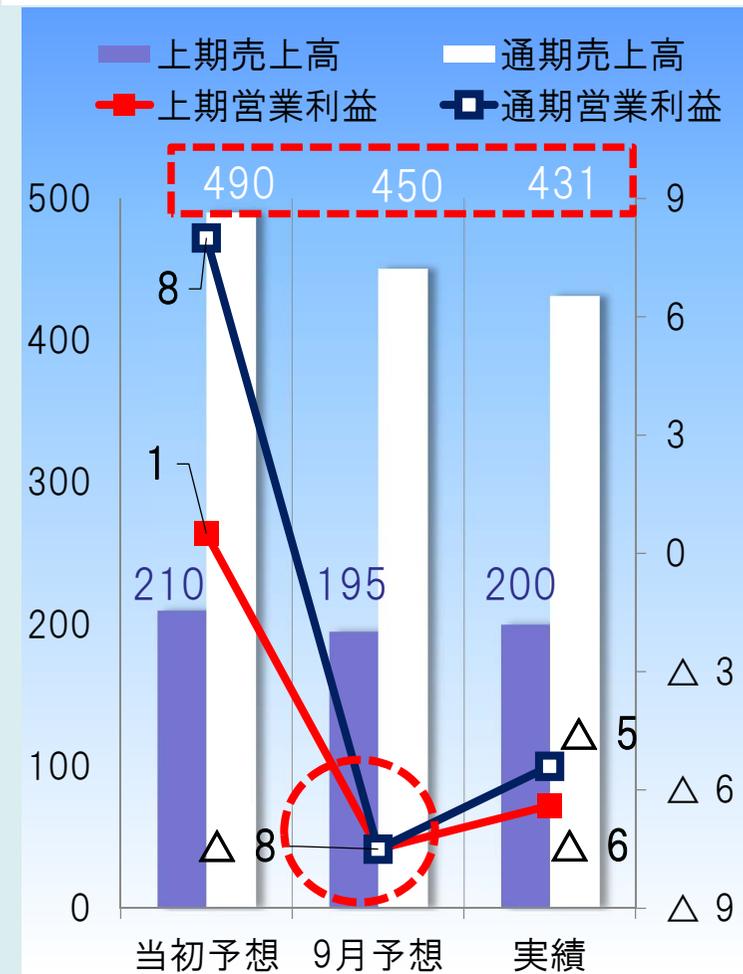
【セキュリティソリューション分野】

- ・新規事業展開遅れ
(アミューズメント・交通市場向け)
- ・無線遠隔監視システムの置換え
需要一巡

■収益構造悪化

- ・円安の進行とエネルギーコストの上昇による原材料の高騰

2014年3月期 上期・通期業績



■ 2014年3月期 連結業績概要

-主な取組み4/4-

(単位：億円)

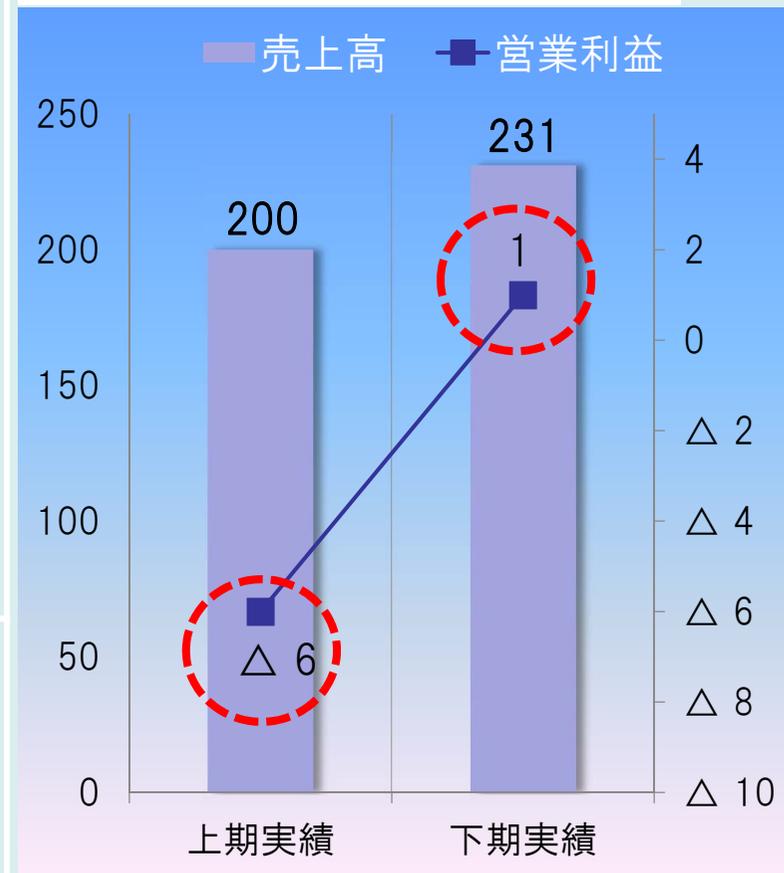
実施事項

- ① 事業の選択と集中
- ② 当企業グループが目指す成長事業分野への経営資源の集中配分
- ③ 総原価の低減
 - ・ 開発リソースの有効活用
 - ・ 組織および要員の適正化
 - ・ 外部流出費用の削減
- ④ 役員報酬等の減額

経営改善施策

■ 経営改善施策効果：5億円
(下期営業利益の黒字化達成)

2014年3月期 上・下期業績



■ 2014年3月期 連結業績概要

-売上高-

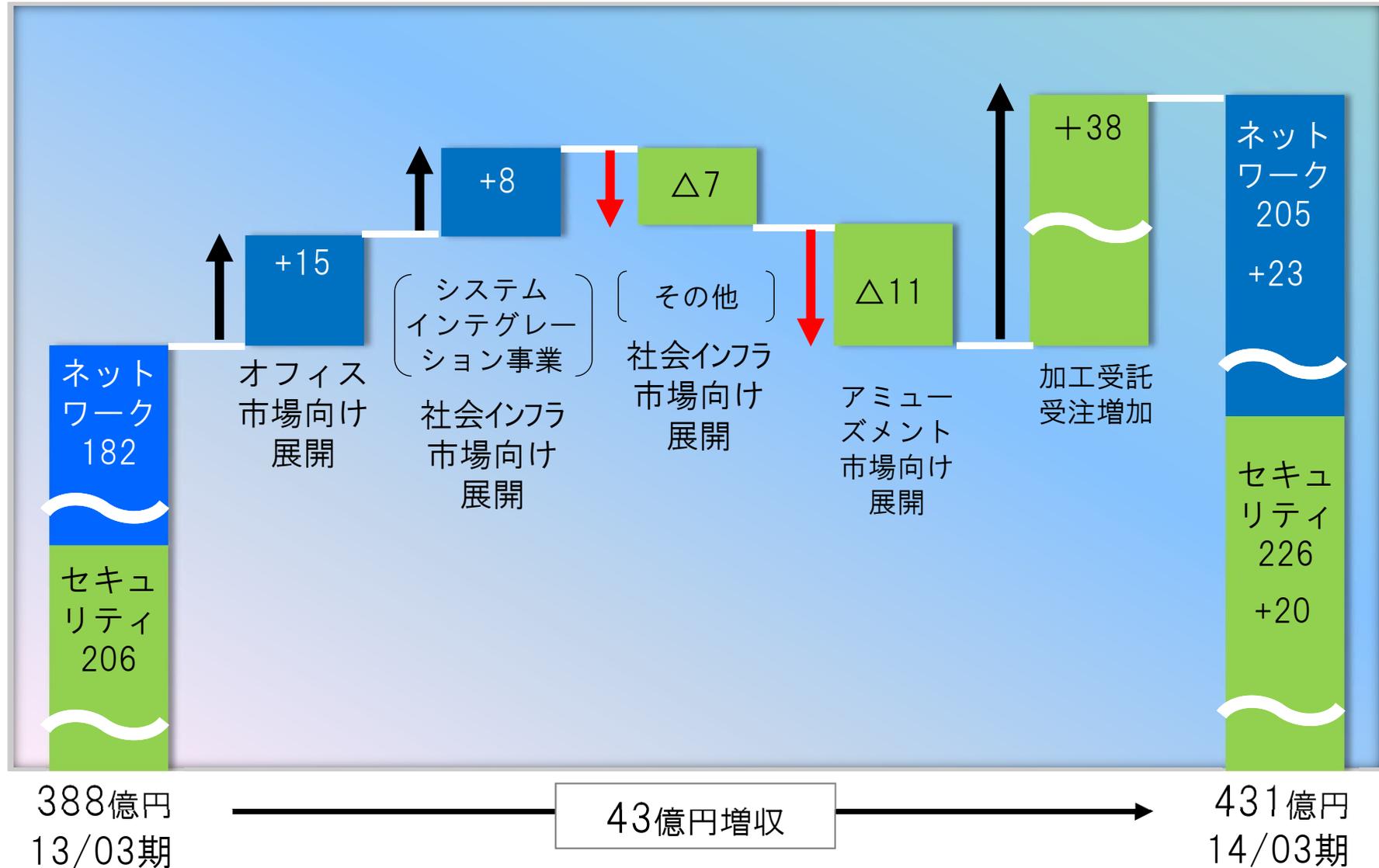
(単位：億円)

	13/3期 実績	14/3期 実績	増減	増減 比率
キーテレホンシステム	115	125	10	8%
ネットワーク機器他	67	80	13	20%
ネットワークソリューション分野	182	205	23	13%
セキュリティシステム	128	110	△ 18	△ 13%
部品他	78	116	38	49%
セキュリティソリューション分野	206	226	20	10%
合 計	388	431	43	11%

■売上高の主な増減内訳 (13/03~14/03期)

-前年実績比-

(単位：億円)



■ 2014年3月期 連結業績概要

-損益-

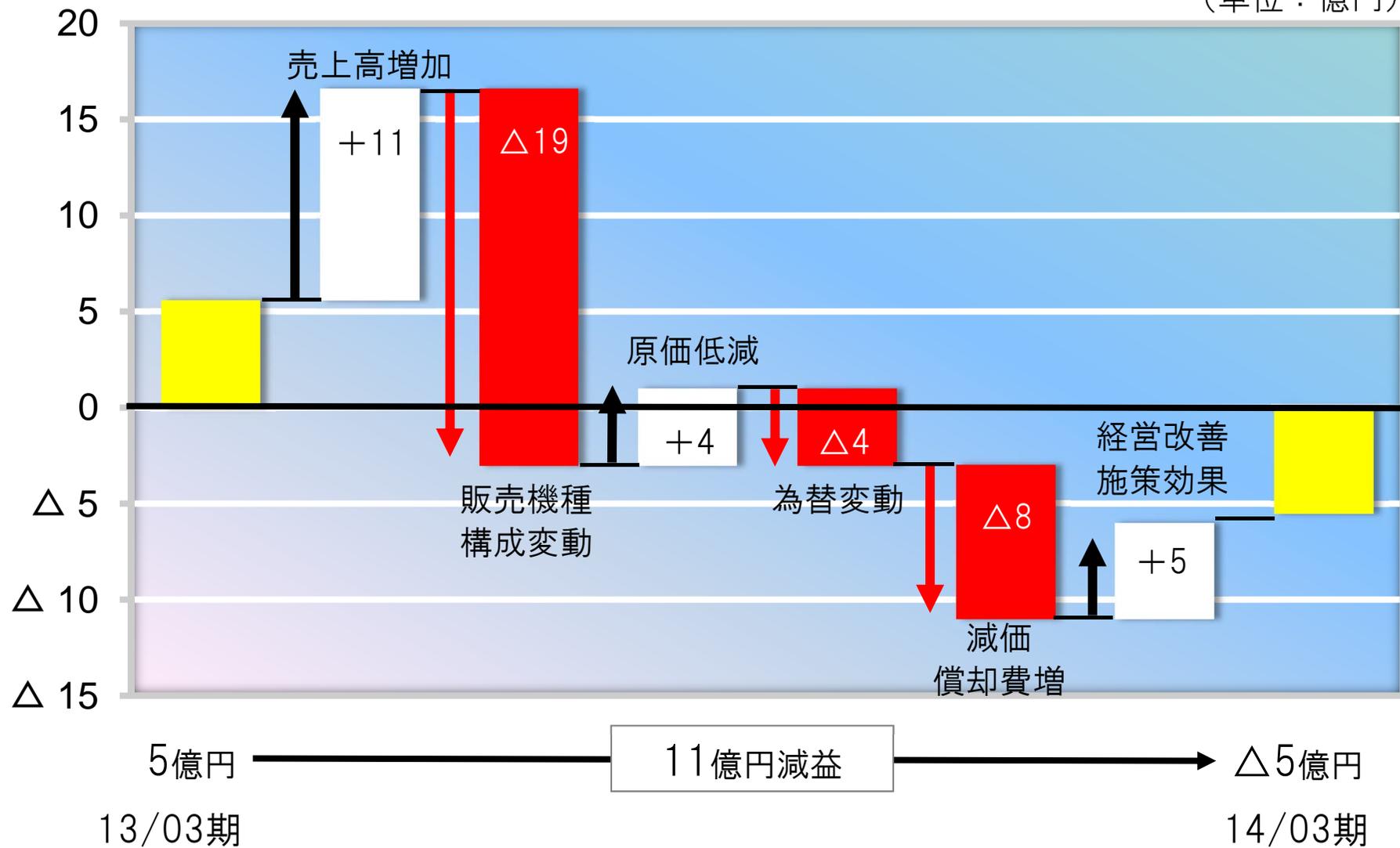
(単位：億円)

	13/3期実績 (A)	14/3期実績 (B)	増減 (B-A)	増減 比率
ネットワークソリューション分野	182	205	23	13%
セキュリティソリューション分野	206	226	20	10%
売上高	388	431	43	11%
営業利益	6	△5	△11	
経常利益	5	△6	△11	
当期純利益	4	△5	△8	
1株当たり当期純利益	6.53円	△7.82円		
配当	3円	(予定) 3円		

■ 営業利益の主な増減内訳 (13/03~14/03期)

-前年実績比-

(単位：億円)



■ 2014年3月期 連結業績概要

-貸借対照表-

(単位：億円)

資産の部	13/3期末 (A)	14/3期末 (B)	増減 (B-A)	主な増減の要因
流動資産	237	234	△3	・ 生産効率化策推進による棚卸資産減少 ・ 新商品販売に伴うソフトウェア償却による無形固定資産の減少
固定資産	198	191	△7	
繰延資産	0	0	0	
資産合計	435	425	△10	
負債・純資産の部	13/3期末 (A)	14/3期末 (B)	増減 (B-A)	主な増減の要因
流動負債	119	114	△6	・ 短期借入金増加による増加 ・ 棚卸資産減少に伴う仕入債務の減少
固定負債	82	82	△1	
負債合計	202	195	△6	・ 退職給付に係る未認識債務の負債計上による増加
純資産	234	230	△4	・ 負ののれん償却による減少 ・ 当期純損失計上による株主資本の減少
負債・純資産合計	435	425	△10	
自己資本比率	53.4%	53.7%	0.3%	

■2014年3月期 連結業績概要

-キャッシュ・フロー-

フリー・キャッシュフローは、経営改善施策の開発リソースの有効活用策実施による支出減はあるものの、税金等調整前当期純損失の計上により、1億円の支出
(単位：億円)

	13/3期末	14/3期末
A. 営業活動によるキャッシュ・フロー	19	19
税金等調整前当期純利益	5	△9
減価償却費	20	29
運転資金の増減	△8	△2
その他	2	1
B. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△29	△20
設備投資支払額	△30	△20
その他投資活動	1	△0
フリー・キャッシュ・フロー	△10	△1
C. 財務活動によるキャッシュ・フロー	2	1
現金及び現金同等物期末残高	62	62

■ 2014年3月期 連結業績概要

■ 2015年3月期 通期連結業績予想

■ 2015年3月期 取組み方針

事業の拡大

1. 新たな価値の創造
2. システムインテグレーション
事業の拡大
3. グローバル展開
4. 生産機能の活用

経営基盤の強化

1. 総原価の低減
2. グループ体制の最適化
3. 財務体質の強化

経営改善施策の継続

■ 2015年3月期 連結業績予想概要

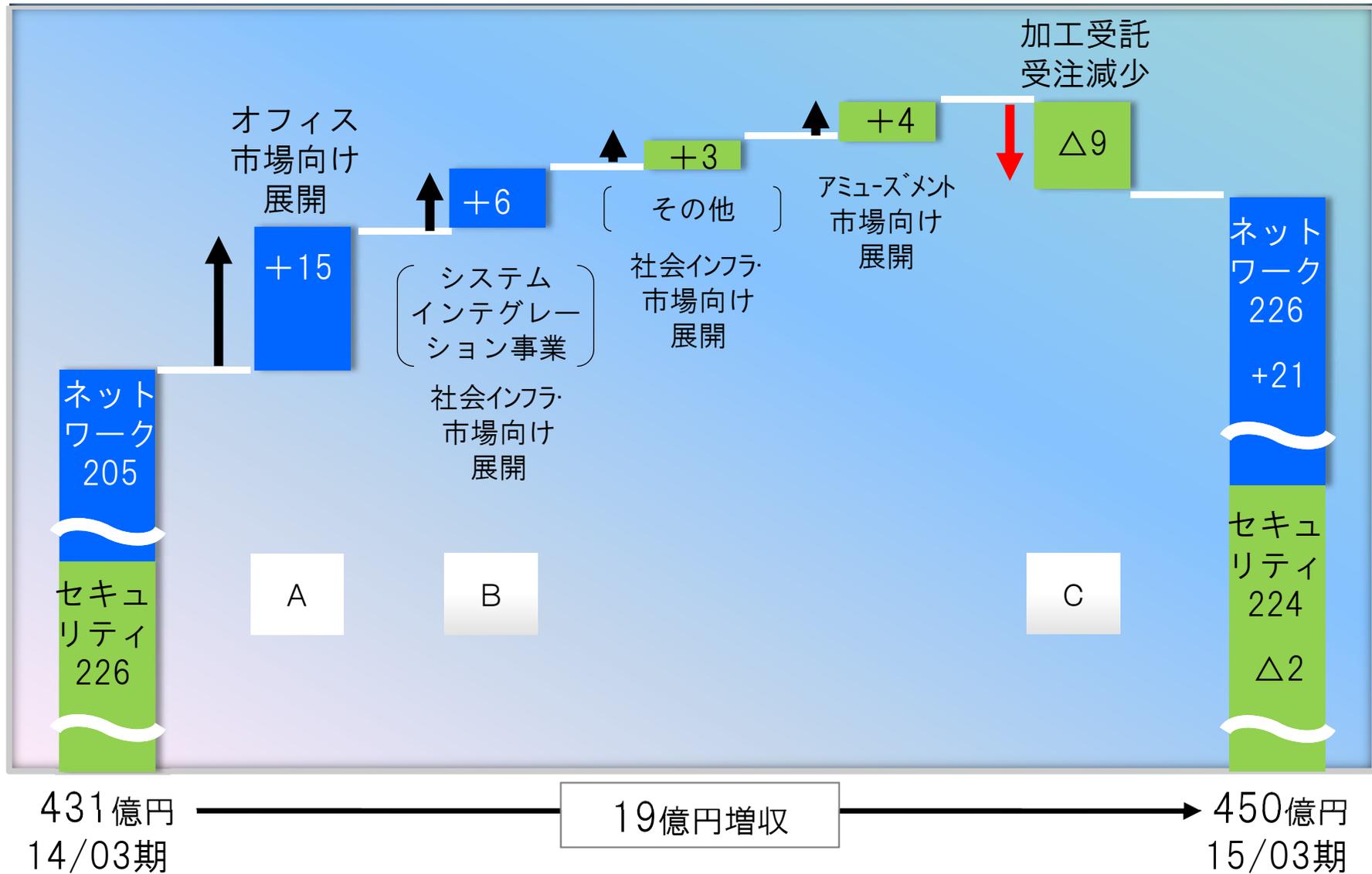
-売上高-

(単位：億円)

	14/3期実績 (A)	15/3期予想 (B)	増減 (B-A)	増減 比率
キーテレホンシステム	125	131	6	5%
ネットワーク機器他	80	95	15	19%
ネットワークソリューション分野	205	226	21	10%
セキュリティシステム	110	117	7	6%
部品他	116	107	△9	△8%
セキュリティソリューション分野	226	224	△2	△1%
合 計	431	450	19	4%

■売上高予想の主な増減内訳 (14/03~15/03期) -前年実績比-

(単位：億円)



■ 2015年3月期 連結業績予想概要

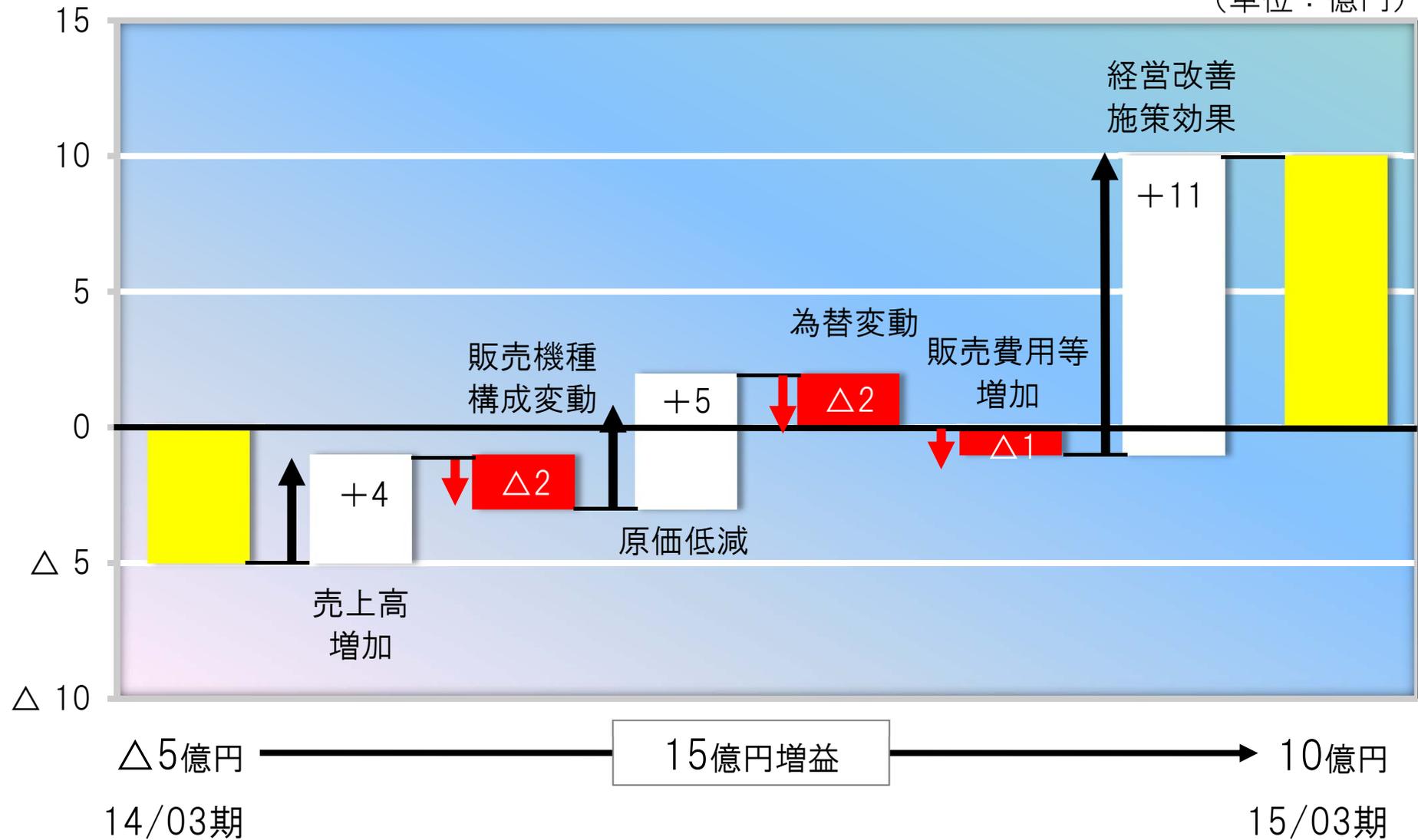
- 損益 -

(単位：億円)

	14/3期実績 (A)	15/3期予想 (B)	増減 (B-A)	増減 比率
ネットワークソリューション分野	205	226	21	10%
セキュリティソリューション分野	226	224	△ 2	△ 1%
売上高	431	450	19	4%
営業利益	△ 5	10	15	
経常利益	△ 6	7	13	
当期純利益	△ 5	3	7	
1株当たり当期純利益	△ 7.82円	4.25円		
配当	(予定) 3円	(予定) 3円		

■ 営業利益予想の主な増減内訳 (14/03~15/03期) -前年実績比-

(単位：億円)



■事業展開への投資

(単位：億円)

	14/3期 実績(A)	15/3期予想(B)	増減 (B-A)
設備投資（有形）	5	8	3
設備投資（無形）	16	14	△2
合計	21	22	1
研究開発費	55	50	△5
減価償却費	29	28	△1



コーポレートメッセージ

つなげる技術の、その先へ。

心地よい暮らし、つまり、
安心で安全、快適で便利な環境の実現に向けて。
つなげる技術を、さらにつなげていくこと。
それを、お客様の明日へとつなげていく、サクサです。